

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成22年11月11日 (2010.11.11)

【公開番号】特開2008-207010(P2008-207010A)
 【公開日】平成20年9月11日 (2008.9.11)
 【年通号数】公開・登録公報2008-036
 【出願番号】特願2008-145645(P2008-145645)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】平成22年9月29日 (2010.9.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

各々を識別可能な複数種類の識別情報の可変表示を行い表示結果を導出表示する可変表示装置を備え、該可変表示装置に特定表示結果が導出表示されたときに遊技者にとって有利な特定遊技状態に移行させ、特定の移行条件が成立したときに前記特定遊技状態が終了した後に通常状態であるときに比べて識別情報の可変表示が前記特定表示結果となりやすい特別遊技状態に移行させ、前記特定遊技状態に移行した後に前記可変表示装置により前記特別遊技状態へ移行させるか否かを報知するための特定の移行報知演出を実行する遊技機であって、

前記特定遊技状態には、所定の開始条件が成立したときから所定期間が経過するまで実行される遊技者にとって有利なラウンドを所定回数繰り返す第 1 特定遊技状態と、前記所定期間よりも短い期間および前記所定回数よりも少ない回数の少なくともいずれかでラウンドを繰り返す第 2 特定遊技状態とが含まれ、

電源断時でも所定期間は記憶内容を保持することが可能な記憶手段に記憶されているデータに従って遊技の進行を制御する遊技制御用マイクロコンピュータと、

前記可変表示装置の表示状態を制御する演出制御用マイクロコンピュータとを備え、
 前記遊技制御用マイクロコンピュータは、

前記第 1 特定遊技状態に移行させるか否かと、前記第 2 特定遊技状態に移行させるか否かと、前記特定の移行条件を成立させるか否かとを、表示結果が導出表示される前に決定する事前決定手段と、

識別情報の可変表示を開始させるときに、識別情報の可変表示の表示結果を特定可能な表示結果特定コマンドを送信する表示結果特定コマンド送信手段と、

前記事前決定手段により前記第 1 特定遊技状態に移行させることが決定されたときに該第 1 特定遊技状態の開始後該第 1 特定遊技状態が終了する前に前記特定の移行報知演出としての第 1 の移行報知演出を実行するか否かと、前記第 1 特定遊技状態を終了するときに前記特定の移行報知演出としての第 2 の移行報知演出を実行するか否かとを決定する移行報知演出実行決定手段と、

前記移行報知演出実行決定手段の決定にもとづく前記第 1 の移行報知演出を実行するか否かと、前記移行報知演出実行決定手段の決定にもとづく前記第 2 の移行報知演出を実行

するか否かと、前記事前決定手段の決定にもとづく前記特定の移行条件を成立させるか否かとを特定可能な特定遊技状態開始コマンドを、前記特定遊技状態を開始するときに送信する特定遊技状態開始コマンド送信手段と、

前記移行報知演出実行決定手段の決定にもとづく前記第2の移行報知演出を実行するか否かと、前記事前決定手段の決定にもとづく前記特定の移行条件を成立させるか否かとを特定可能な特定遊技状態終了コマンドを、前記特定遊技状態を終了するときに送信する特定遊技状態終了コマンド送信手段とを含み、

前記表示結果特定コマンド送信手段は、前記事前決定手段により前記第1特定遊技状態に移行させることが決定されたときに、前記特定の移行報知演出の実行時期を特定可能な情報を含む前記表示結果特定コマンドを送信し、

前記演出制御用マイクロコンピュータは、

前記表示結果特定コマンド送信手段により送信された前記表示結果特定コマンドに含まれる前記特定の移行報知演出の実行時期を特定可能な情報にもとづく表示結果が前記可変表示装置に導出表示された後、前記特定遊技状態開始コマンド送信手段により送信された前記特定遊技状態開始コマンドが前記第1の移行報知演出の実行を示しているときに、前記可変表示装置により前記第1の移行報知演出を実行する第1移行報知演出実行手段と、

前記特定遊技状態開始コマンド送信手段により送信された前記特定遊技状態開始コマンドが前記第1の移行報知演出の実行および前記第2の移行報知演出の実行を示しているときには、該特定遊技状態開始コマンドが前記特定の移行条件を成立させることを示しているときでも、前記第1移行報知演出実行手段が前記第1の移行報知演出において前記特別遊技状態への移行を報知することを禁止する特別遊技状態移行報知禁止手段と、

前記表示結果特定コマンド送信手段により送信された前記表示結果特定コマンドに含まれる前記特定の移行報知演出の実行時期を特定可能な情報にもとづく表示結果が前記可変表示装置に導出表示された後、前記特定遊技状態開始コマンド送信手段により送信された前記特定遊技状態開始コマンドと前記特定遊技状態終了コマンド送信手段により送信された前記特定遊技状態終了コマンドとの少なくとも一方が前記第2の移行報知演出の実行を示しているときに、前記可変表示装置により前記第2の移行報知演出を実行する第2移行報知演出実行手段と、

前記特定遊技状態に移行した場合に前記可変表示装置により前記特定遊技状態中の演出を実行する特定遊技状態中演出手段とを含み、

前記特定遊技状態中演出手段は、前記第2特定遊技状態に移行した場合には当該第2特定遊技状態における複数のラウンドに亘って継続する演出を実行する

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

本発明による遊技機は、各々を識別可能な複数種類の識別情報（例えば、飾り図柄）の可変表示を行い表示結果を導出表示する可変表示装置（例えば、可変表示装置9）を備え、可変表示装置に特定表示結果（例えば、大当り図柄）が導出表示されたときに遊技者にとって有利な特定遊技状態（例えば、大当り遊技状態）に移行させ、特定の移行条件（例えば、確変大当りとするか否かの抽選の結果確変大当りすることに決定されたこと、ステップS104参照）が成立したときに特定遊技状態が終了した後に通常状態であるときに比べて識別情報の可変表示が特定表示結果となりやすい特別遊技状態（例えば、確変状態）に移行させ、特定遊技状態に移行した後に可変表示装置により特別遊技状態へ移行させるか否かを報知するための特定の移行報知演出（例えば、第1再抽選演出および第2再抽選演出）を実行する遊技機であって、特定遊技状態には、所定の開始条件が成立したときから所定期間が経過するまで実行される遊技者にとって有利なラウンドを所定回数繰り

返す第1特定遊技状態と、所定期間よりも短い期間および所定回数よりも少ない回数の少なくともいずれかでラウンドを繰り返す第2特定遊技状態とが含まれ、電源断時でも所定期間は記憶内容を保持することが可能な記憶手段に記憶されているデータに従って遊技の進行を制御する遊技制御用マイクロコンピュータ（例えば、遊技制御用マイクロコンピュータ560）と、可変表示装置の表示状態を制御する演出制御用マイクロコンピュータ（例えば、演出制御用マイクロコンピュータ100）とを備え、遊技制御用マイクロコンピュータは、第1特定遊技状態に移行させるか否かと、前記第2特定遊技状態に移行させるか否かと、特定の移行条件を成立させるか否かとを、表示結果が導出表示される前に決定する事前決定手段（例えば、遊技制御用マイクロコンピュータ560においてステップS56，ステップS104の処理を実行する部分）と、識別情報の可変表示を開始させるときに、識別情報の可変表示の表示結果を特定可能な表示結果特定コマンドを送信する表示結果特定コマンド送信手段と、事前決定手段により第1特定遊技状態に移行させることが決定されたときに、第1特定遊技状態の開始後第1特定遊技状態が終了する前に特定の移行報知演出としての第1の移行報知演出（例えば、第1再抽選演出）を実行するか否かと、第1特定遊技状態を終了するときに特定の移行報知演出としての第2の移行報知演出（例えば、第2再抽選演出）を実行するか否かとを決定する移行報知演出実行決定手段（例えば、遊技制御用マイクロコンピュータ560においてステップS114の処理を実行する部分）と、移行報知演出実行決定手段の決定にもとづく第1の移行報知演出を実行するか否かと、移行報知演出実行決定手段の決定にもとづく第2の移行報知演出を実行するか否かと、事前決定手段の決定にもとづく特定の移行条件を成立させるか否かとを特定可能な特定遊技状態開始コマンド（例えば、ファンファーレコマンド）を、特定遊技状態を開始するときに送信する特定遊技状態開始コマンド送信手段（例えば、遊技制御用マイクロコンピュータ560においてステップS368，S369，S372，S373，S374の処理を実行する部分）と、移行報知演出実行決定手段の決定にもとづく第2の移行報知演出を実行するか否かと、事前決定手段の決定にもとづく特定の移行条件を成立させるか否かとを特定可能な特定遊技状態終了コマンド（例えば、エンディングコマンド）を、特定遊技状態を終了するときに送信する特定遊技状態終了コマンド送信手段（例えば、遊技制御用マイクロコンピュータ560においてステップS244，S248，S249，S257，S258の処理を実行する部分）とを含み、表示結果特定コマンド送信手段は、事前決定手段により第1特定遊技状態に移行させることが決定されたときに、特定の移行報知演出の実行時期を特定可能な情報を含む表示結果特定コマンドを送信し、演出制御用マイクロコンピュータは、表示結果特定コマンド送信手段により送信された表示結果特定コマンドに含まれる特定の移行報知演出の実行時期を特定可能な情報にもとづく表示結果が可変表示装置に導出表示された後、特定遊技状態開始コマンド送信手段により送信された特定遊技状態開始コマンドが第1の移行報知演出の実行を示しているときに、可変表示装置により第1の移行報知演出を実行する第1移行報知演出実行手段（例えば、演出制御用マイクロコンピュータ100においてステップS904，S935～S937，S942～S945の処理を実行する部分）と、特定遊技状態開始コマンド送信手段により送信された特定遊技状態開始コマンドが第1の移行報知演出の実行および第2の移行報知演出の実行を示しているときには、特定遊技状態開始コマンドが特定の移行条件を成立させることを示しているときでも、第1移行報知演出実行手段が第1の移行報知演出において特別遊技状態への移行を報知することを禁止する特別遊技状態移行報知禁止手段（例えば、演出制御用マイクロコンピュータ100においてステップS921～S923の処理を実行する部分、すなわち、第1再抽選演出フラグと第2再抽選演出フラグの双方がセットされているときには昇格フラグをセットしないことによって特別遊技状態移行報知禁止手段が実現されている）と、表示結果特定コマンド送信手段により送信された表示結果特定コマンドに含まれる特定の移行報知演出の実行時期を特定可能な情報にもとづく表示結果が可変表示装置に導出表示された後、特定遊技状態開始コマンド送信手段により送信された特定遊技状態開始コマンドと特定遊技状態終了コマンド送信手段により送信された特定遊技状態終了コマンドとの少なくとも一方が第2の移行報知演出の実行を示しているとき

に、可変表示装置により第２の移行報知演出を実行する第２移行報知演出実行手段（例えば、演出制御用マイクロコンピュータ１００においてステップＳ９８１～Ｓ９８５の処理を実行する部分）と、特定遊技状態に移行した場合に可変表示装置により特定遊技状態中の演出を実行する特定遊技状態中演出手段とを含み、特定遊技状態中演出手段は、第２特定遊技状態に移行した場合には当該第２特定遊技状態における複数のラウンドに亘って継続する演出を実行するを含むことを特徴とする。